

令和元年度 北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

1. 趣旨

内閣府、北海道・東北ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うとともに、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

2. テーマ

「震災復興から学ぶ人づくりと地域づくり」

日本の地方創生には、地域資源を活用した、積極的な交流人口を増やす取組が大切であると考え。地域づくりとそれを担う人づくりは、今やどの地方でも課題となっている。

2011年の東日本大震災からの復興で顕在化した課題も、まさに魅力ある地域づくりと人材育成である。特に、最大の被災地石巻では、地域への未来に危機感を持った企業経営者や多くの人たちが立ち上がり、同業者や他業種でネットワークを作り、地域の担い手育成や活性化を目指して動き出している。

今回の集いでは、石巻を代表する人材育成と地域活性化を実施している企業の湊水産株式会社の代表取締役木村一成氏に、石巻の基幹産業である水産加工の湊水産株式会社の取組を通して、震災をどのように乗り越え、復興を成し遂げてきたか、震災後、社屋の再建を機に始めた体験型食育プログラムがなぜ人づくりや地域づくりにつながっているのか、企業として人材育成をするために意識していることは何かを、講話と食育プログラムの体験を通じて学ぶ。

また、子供から大人まで、言葉が通じなくても、誰もが協力し合って、楽しめる食育イベントを、国際交流団体 Tigmi の協力を得ながら、外国人と共に体験し、人づくりと地域づくりについての意見交換を通して共に考え、学びを深めていく。

3 主催

内閣府

日本青年国際交流機構

一般財団法人 青少年国際交流推進センター

宮城青年国際交流機構

4 後援（予定）

宮城県、宮城県国際交流協会、石巻市

5 主管

令和元年度「北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

6 期日

令和元年 7月 27日（土）～28日（日）

7 会場

「宮城県石巻市」

メイン会場：石巻市水産総合振興センター

（〒906-0022 宮城県石巻市魚町 2丁目 12-3 TEL：0225-90-4352）

懇親会会場：追分温泉

（〒986-0204 宮城県石巻市北上町女川字大峯 1 TEL：0225-67-3209）

宿泊会場：追分温泉

（〒986-0204 宮城県石巻市北上町女川字大峯 1 TEL：0225-67-3209）

帰国報告会・閉会式会場：川のビジターセンター

（〒986-0201 石巻市北上町十三浜字東田 1 TEL：0225-24-6506）

移動手段 … 自家用車、大型バスを手配予定

8 参加対象者

内閣府、各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者
国際交流に関心のある青少年等

9 問合せ先

「北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会 事務局

住所：〒980 - 0811

仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-3 仙台市市民活動サポートセンター#55

TEL : 090-3128-6851(事務局専用携帯) FAX : 022-268-4042

E-Mail : miyagi.iyeo@gmail.com

10 参加費

(1)～(3)は、体験型食育プログラム「たらこ、つくろう。」への参加費 3,500 円を含みます。

(1) 全日程参加 (1泊2食付き)

① 大人 (中学生以上) 15,000 円

② 子供 (小学生) 8,000 円

③ 子供 (3～6 歳) 7,000 円

※基本は相部屋です。一人部屋をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

翌日の地域理解研修までのご参加をオススメします。石巻水産総合振興センターから送迎バスを用意しています。水産総合振興センターの駐車場は無料です。

(2) 日帰り参加 (開会式から意見交換まで参加)

① 大人 4,000 円

② 学生、子供 3,500 円

※仙台駅から送迎バスを用意しています。ご利用の方はプラス一人 1,000 円です。

(3) 日帰り参加 (懇親会まで参加、温泉付き)

① 大人 (中学生以上) 11,000 円

② 子供 (小学生) 7,000 円

③ 子供 (3～6 歳) 6,000 円

※自家用車でご移動願います。

(4) 地域理解研修 (大型バスでガイドしながら、被災地の復興状況を見て回ります)

① 大人 (中学生以上) 3,000 円

② 子供 (小学生以下) 2,000 円

※バス代、大川小・女川ガイド代、資料代。昼食は女川にて各自負担。

11 参加申込 (締切 7 月 12 日 (金))

参加申込書に氏名、住所、性別、連絡先 (電話番号等)、参加事業、懇親会参加の有無、宿泊の有無、地域理解研修参加の有無等を明記の上 mail, FAX または web 申込フォームのいずれかでお申し込みください。申込フォームは QR コードから読み取ることもできます。(たらこづくり体験は 100 名、うち宿泊付きは最大 50 名の人数制限があるため、申込期日厳守とし、定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。)

※参加申込書は IYEO のホームページからダウンロードできます。

【申込先】申し込みフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/1B0aO2fyUmuvvMezAiL1r4j-bUKFB8jNhXUuEEbS1ZEc/>



【振込先】

七十七銀行（シチジュウシチギンコウ） 幸町支店（サイワイチョウシテン）

預金種目：普通

口座番号：5413451

受取人：宮城青年国際交流機構（ミヤギセイネンコクサイコウリュウキコウ）

会長 早坂 玲美（カイチョウ ハヤサカ レイミ）

12 日程

第1日目 7月27日（土）

11:30～12:30 国際交流事業関係者連絡会議（石巻市水産振興センター中会議室）

12:30～12:50 受付

13:00～13:20 開会式

13:30～15:30 講話「湊水産の震災復興からの人づくりと地域づくり（仮題）」
体験型食育プログラム「たらこ、つくろう。」

講師：湊水産株式会社 代表取締役社長 木村 一成氏 他

企業概要：創業30年目の2011年3月、東日本大震災で壊滅的な被害を受けながらも、従業員を一人も解雇せずにわずか1ヶ月後に事業を再開。2014年、新社屋の建設を機に体験型食育プログラム「たらこ、つくろう。」を始め、今や、地元の小学生から大学生、経営者、外国人、障害者、官公庁の職員まで、誰もが楽しく学べる感動のプログラムとして大人気となっている。同社は企業内保育所を開設し、人手不足で悩む水産業界において求人倍率10倍以上という、子育て中の女性を応援する企業で、全国からの視察が相次いでいる。さらに同社は、安心・安全な食を通して、石巻を活性化しようと、地元企業10社で連携・協力してハラルフードの開発や常設マルシェ経営も行なう。

内容：湊水産株式会社が、震災時、どのように避難者と助け合い乗り越えてきたか、社員をどのように守ったか、企業として何を大切にしているかなど、講話をいただく（30分程度）。

その後、震災後に始めた食育プログラム「たらこ、つくろう。」を実際に体験する（90分程度）。具体的には、グループに分かれて、協力しながら湊水産で実際に商品化されている「無着色たらこ」を作り、石巻産無農薬ササニシキを使って「たらこおにぎり」にして試食する。おにぎりづくりは、震災時、「おにぎり」を握れなかった子供たちが多かったという教訓から取り入れている。

この体験を通して、実は石巻の特産品である「たらこ」を食べたことがない、嫌いという青少年に、チームでものを作る楽しさを体感してもらい、地域への愛着と誇りを育むことに加え、今回は、宮城や福島で活動するイスラム料理を通じた国際交流団体 Tigmi とコラボし、「食育体験による国際交流」の機会を提供することも目的としている。

15:30～15:45 記念撮影

15:45～16:15 休憩・魚市場自由見学

16:15～16:45 意見交換「湊水産の取組から学ぶこと」

湊水産の取組、体験、姿勢などから、チームで楽しく学ぶこと、人材育成で大切なこと、青少年育成や国際交流が地域活性化につながることなど、たらこチームで振り返って話し合い、共有する。

16:45～17:00 移動準備

17:00～18:00 懇親会会場、宿泊先へ移動

19:00～21:00 懇親会

第2日目 7月28日（日）

08:00～09:00 朝食

09:00～09:15 チェックアウト

09:15～09:30 追分温泉出発

09:30～10:30 国際交流事業参加報告・事後活動報告

若手会員による報告、交流。ブースセッション方式で、距離感を縮め、緩やかなやり取りをする。

10:30～11:00 閉会式

11:00～15:30 地域理解研修（希望者のみ） 参加費 4,000 円（バス代、語り部謝金）
 大川小学校（語り部） — 女川訪問（昼食、語り部）
 語り部による震災から学ぶ命の守り方と、復興に向けた地域の魅力づくり
 ＊昼食費実費負担

13 実行委員会

【住所】〒980 - 0811 仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-3
 仙台市市民活動サポートセンター#55

14 委員

【委員名簿】

役職	氏名	参加事業	市町村
実行委員長	田山奈央子	平成 21 年度 第 22 回世界青年の船	仙台市
副実行委員長	早坂玲美	平成 22 年度 日韓青年親善交流	仙台市
副実行委員長	伊勢みゆき	平成 12 年度 第 13 回世界青年の船	仙台市
委員	鳥山佳菜恵	平成 27 年度 次世代グローバルリーダー育成事業	東京都
委員	大崎加奈	平成 17 年度 日韓青年親善交流 団長	多賀城市
委員	及川敦子	昭和 52 年度 海外派遣	石巻市
委員	渡口博貴	一般	仙台市